

山形東高校 Q&A (学校紹介パンフレットには掲載のないもの)

Q 志望していない学科に、他の科から回って合格することはありますか？

A 志望している学科でのみ合格が可能です。3通り志願方法がありますので、具体的には「第1志望・探究科、第2志望・普通科」として志願した場合はそのどちらかの科で合格が可能です。「第1志望探究科・第2志望なし」の志願方法では、探究科のみで合格が可能です。「第1志望普通科・第2志望なし」の志願方法では、普通科のみで合格可能です。仮にどちらかの学科が定員に満たなかったとしても、志望していない学科にまわって合格することはできません。

Q 普通科の合格者を選抜する際に、志望の順は重視されますか？

A 「第1志望・探究科、第2志望・普通科」としている受検者が、第1志望の探究科で合格候補者とならなかった場合、次に普通科の合格者選抜対象者となります。この普通科の合格者選抜においては、第1志望か第2志望かは関係なく、同じ基準により選抜されます。志望の順は関係なく、調査書と学力検査による総合点が優れている受検者が合格候補者となります。

Q 入学後にそれぞれの学科を変更することはできますか？

A 普通科、探究科は入学の時点で別募集しており、1年次から異なるカリキュラムで学びます。また2年次より探究科は「理数探究科」と「国際探究科」に分かれ、普通科は「理系」と「文系」に分かれ、それぞれが別のカリキュラムで学びます。このように、学科のねらいに応じ3年間に渡って異なるカリキュラムが組み込まれているため、入学後の学科変更は困難です。

Q 探究科に進学した場合、3年間クラス替えはないのですか？

A 2年次から、探究科の80名は「理数探究科」と「国際探究科」の2クラスに分かれることとなりますので、1年次から2年次になる際は確実にクラス替えが行われます。この際に2つの科がちょうど40名ずつにならないことも想定され、人数に大きな偏りがある場合は「理数探究科」の生徒と「国際探究科」の生徒が混在するクラス編成になる可能性もあります。2年次から3年次になる際にクラス替えを行うかについては、現時点では未定です。時間割編成や進路指導について最適な環境を考えながら判断していきます。

Q 「山東探究塾」とはどのようなものですか？

A 答えが用意されていない問題に対処するために必要な姿勢・知識・技術を身につけることを目的とする、山形東高校独自の授業となります。「山東探究塾」の授業は「総合的な学習の時間」として行われるもので、1年次の「山東探究塾Ⅰ」に始まり、2年次「山東探究塾Ⅱ」を経て、3年次の「山東探究塾Ⅲ」まで、探究科・普通科ともに3年間に渡って行われます。様々な面で変化し続ける社会や、いまだ解明されていない点が多い自然界は、答えが用意されていない問題に満ちています。新たな領域を自ら発見し、解決していくためには、物事をよく観察して正しい情報を見極める力、情報を分析して論理的に考える力、他者の考えを受け止め、自分の考えを人に伝える力などが必要です。「山東探究塾」の授業では、探究活動を通してこれらの力を育てていきます。

Q 専門性の高い探究活動はどのようにして行われるのでしょうか？

A 「山東探究塾」の授業では、大学や研究機関などにも協力してもらい探究活動を行います。外部機関から講師を招いたり、大学院生等のティーチングアシスタント (TA) が、担当教員とともに、課題設定、進捗状況確認、成果発表などの大事な段階で探究活動をサポートするなど、外部からの協力を得ながら充実した探究内容となるように連携を図っていきます。

Q 探究科に入学するには、探究したいテーマを持っている必要がありますか？

A 入学する段階で探究したいテーマを持っている必要はありません。もちろん探究してみたいと思うテーマを既に持っているのであれば、思う存分テーマを突き詰め、探究活動を深めて欲しいと思います。しかし、探究するテーマを自ら発見し、課題を設定することは、探究活動における非常に重要な要素ですので、入学後「山東探究塾Ⅰ」の授業で必要なスキルを身につけながら、十分に時間をかけてテーマを設定することができます。

Q 探究科に入学しても部活動を行うことは可能でしょうか？

A 普通科と探究科で、部活動における違いはありません。本校では文武両道の校是のもと、バランスのとれた総合的な人間力を養うため、普通科・探究科問わず部活動の取組みも重視していきます。

ただし探究科では2年次は探究活動を深めるため、2週に1コマ普通科より多い設定となり、その日の部活動開始時刻が少し遅れます。探究科の生徒は、全員探究部に所属しますが、他の部活動と兼部が可能とし、普通科の生徒と同様の活動が可能です。その他普通科との違いはなく、部活動に大きな支障はありません。

Q 平成32年度からの大学入試はどのように変化するのでしょうか？

A 大学入学者選抜改革により、現在中学3年生の生徒が大学受験に臨む平成32年度からの大学入試では、①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③主体性を持って多様な人々と協働して「学ぶ態度」、という受検生の「学力の3要素」について、多面的・総合的に評価する入試へと転換されます。

現在行われている共通試験の「大学入試センター試験」は、「大学入学共通テスト」に切り替わり、国語と数学で記述式の問題が導入され、英語については「話す」「書く」を含めた4技能を評価する試験へと転換されます。更に、各大学が独自に行う個別試験において

は、AO入試や推薦入試で、学力の3要素がバランスよく評価されるようになり、各教科の試験でも、課題解決に至る思考力を重視する出題が含まれるようになります。また、現在よりも詳細な記入内容となる調査書を大学側が積極的に活用するなど、高校での学習履歴も重視されるようになります。

Q 探究科と普通科で、将来の進学先に違いはありますか？

A 探究科でも普通科でも、難関大学・学部の合格を目指すという点は変わりません。どちらの学科でもその進路志望を達成するための力を養成していきます。探究科では、大学入学者選抜改革に対応するため、発展的な探究型学習を通して、総合的な学力を伸ばしていきます。2年次以降は少人数で授業を行う科目も多くなるため、よりきめ細かな指導が可能となります。目標とするゴールは探究科・普通科とも同じですが、探究科ではそのゴールに至る過程が充実しており、高い進路志望を実現する可能性をより高める指導を行っていきます。